

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/10/21号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



70ドル割れ、供給不安緩和で戻り売り優勢

NY原油先物相場は、1バレル=70ドルの節目を割り込み、10月1日以来の安値を更新する展開になった。イスラエルがイラン石油施設を攻撃するリスクを背景に、10月8日には78.46ドルまで急伸していた。しかし、14日に米ワシントン・ポスト紙が、イスラエルはイラン石油・核施設の攻撃を行わないと米政府に通知したと報じると、利食い売り優勢の展開になった。中東の地政学リスクから原油需給緩和見通しに焦点が移行しており、週末には68ドル台中盤まで値下がりしている。石油輸出国機構（OPEC）が世界石油需要見通しを引き下げたこと、国際エネルギー機関（IEA）が年明け後の大幅な需給緩和見通しを示したこともネガティブ。

IEAはイラン産原油の供給リスクについて、世界の石油需要の伸びが急速に減速していること、OPECプラス以外の増産圧力の強さ、OPECの増産余力が過去最高水準あること、中国など各国が十分な原油備蓄を保有していることで、対応可能との見通しを示している。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（10月11日時点）は、原油が前週比219万バレル減、ガソリンが220万バレル減、石油精製品が353万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

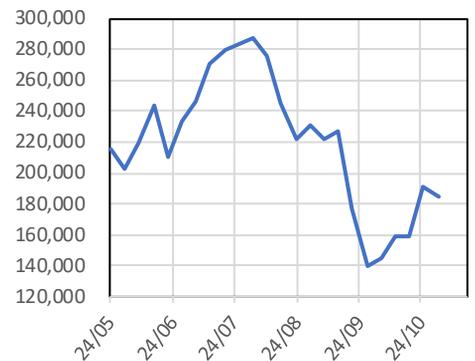
供給障害なければ上値重い展開に、年初来安値も視野

イスラエルによるイラン石油施設に対する攻撃の有無が重視される地合が続いていたが、緊張状態が緩和している。イスラエルは正式な声明を出していないが、このままイラン産原油供給に大きな混乱が生じないのであれば、需給緩和見通しの織り込みが優勢の地合に回帰する見通し。地政学リスクから需給へのテーマシフトが促されているのは、4月にイスラエルとイランの軍事衝突がみられた際の急伸、その後に急反落となった地合の再現をイメージさせる。

今週は特に大きなイベントなどは予定されていないが、前週のIEA月報で大幅な需給緩和見通しが再確認されたこともあり、戻り売り優勢の展開が支持されやすい。中国で景気対策を巡る動きが活発化していることはポジティブだが、12月には石油輸出国機構（OPEC）プラスの減産縮小も予定されており、需給の緩みに対する警戒感を払しょくするのは難しい。70ドルの節目を割り込んだことで、9月10日に付けた年初来安値65.27ドルにどこまで迫るのが注目される地合になるう。

中東情勢に関しては、依然として流動的である。10月17日にハマスの最高幹部シンワル氏がイスラエル軍によって殺害された。これによってハマスの組織瓦解で緊張状態が緩和されるとの見方と、逆に一段と緊張感が高まるとの見方が交錯している。イスラエルはヒズボラとの戦闘を本格化させる一方、イランに対する報復攻撃がいつ行われても不思議ではない状況が続くため、原油相場の地合が突然に急変するリスクには引き続き求められる。特に原油供給に対する実害が景気されると、急伸対応を迫られるリスクは残されている。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



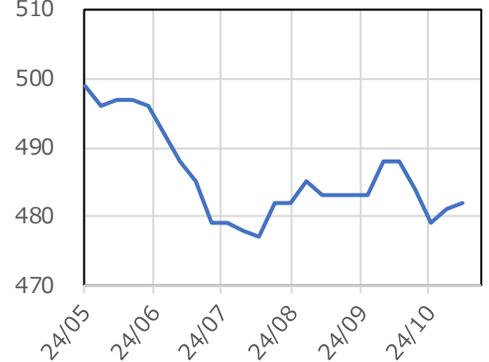
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

